

「1型糖尿病におけるフラッシュグルコースモニタリングの有用性の検討」
へご協力のお願い
当院内科では以下の課題研究を行っています。ご協力をお願いします。

1. 研究の対象

2017年12月～2018年3月までに当院でフラッシュグルコースモニタリングを開始した1型糖尿病の方

2. 研究目的・方法

〔研究の目的〕 1型糖尿病は、膵β細胞の破壊によりインスリン欠乏が生じて発症するタイプの糖尿病です。1型糖尿病に対する治療としてはインスリン補充療法が行なわれますが、外因性のインスリン投与で、生理的なインスリン分泌動態を完全に模倣することは困難なことから、血糖変動が生じます。これまで血糖変動を知るツールとして簡易自己血糖測定が用いられてきましたが、測定時点での血糖値しか知ることができませんでした。間質液中のグルコース濃度を連続的に測定するフラッシュグルコースモニタリングは血糖変動を把握することが可能となるシステムです。このシステムの導入により、血糖コントロールの改善が認められるかを評価することがこの研究の目的です。

〔研究の方法〕 フラッシュグルコースモニタリング導入前と導入6か月後の血糖コントロール指標(HbA1c、グリコアルブミンなど)を比較します。

〔研究の期間〕 倫理審査委員会承認後～2019年5月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下のカルテ情報を利用いたしますが、情報は匿名化されます。

利用するカルテ情報：年齢（発症年齢）、性別、身長、体重、糖尿病罹病期間、既往歴、糖尿病合併症の有無、治療法、他の自己免疫疾患の合併の有無、血糖値、HbA1c、グリコアルブミン、抗GAD抗体、抗IA-2抗体、血中CPR、フラッシュグルコースモニタリングシステム内グルコース値データ

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

なお本研究は当院倫理委員会の承認を受けて実施しております。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒272-8513 千葉県市川市菅野 5-11-13

東京歯科大学市川総合病院 研究責任者 内科 大久保 佳昭

電話：047-322-0151

-----以上